



公益社団法人  
プレストレストコンクリート工学会

JAPAN PRESTRESSED CONCRETE INSTITUTE



JPCI 公益社団法人  
プレストレストコンクリート工学会

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号 第3都ビル5階  
TEL : 03-3260-2521 / FAX : 03-3235-3370  
<https://www.jpcci.or.jp>

2025年7月発行



## 会長挨拶

公益社団法人プレストレストコンクリート工学会（PC工学会）は、1958年に設立されたプレストレストコンクリート技術協会を前身とするわが国唯一のプレストレストコンクリート（PC）に関する学会組織です。本工学会が対象とするPC構造はその特長を活かしながら、インフラ構造物の構築により国土の形成や経済の発展ならびに生活の豊かさ向上に、建築物の構築により快適で利便性の高い空間の創造に寄与し、さらには社会の安全・安心に貢献しています。

PC構造が社会に果たす役割は大きく、本工学会は70年近くにわたり我が国のPC構造に関する学術と技術の進歩に寄与するとともに、その普及を行っています。会誌の発行、各種技術規準やガイドラインなど書籍の刊行、年次のPCシンポジウムや各種講習会の開催、技術者資格認定事業などの様々な活動を行っています。また国際機関である *fib* に公益社団法人日本コンクリート工学会とともに日本代表として参画し、国内に留まらず国際的にも重要な役割を担っています。

大規模自然災害への備え、既設構造物の維持管理、脱炭素など、現在取り組むべき多くの社会課題があります。洋上風力等の新たな構造物の開発や構築、AI等の新技術の活用など、次世代に向けて取り組まなければならない課題も様々あります。また多様性を踏まえた人材活用や人材育成なしにPC構造物や技術を守り・発展させ・伝えていくはできません。人（技術者）・モノ（PC構造）・こと（技術）のそれぞれの大事さを改めて踏まえた活動を行っていきたいと考えています。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第37代会長

中村 光  
(名古屋大学大学院 教授)

### 主な事業活動

- (1) PC技術に関する調査、研究および資料収集とその成果の普及
- (2) PC技術の発展に資する国際活動
- (3) 会誌などの発行および講習会、セミナーの開催

- (4) PCに関する技術者の資格付与と教育
- (5) その他、本工学会の目的達成に必要な事業

## シンポジウム

PC技術に関する学術シンポジウムとして、『プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム』を毎年秋に開催しており、2025年で第34回を数えます。シンポジウムでは、PCに関する調査・研究・設計・施工・維持管理など、多方面にわたる最新の技術や研究が発表され、技術者・研究者の研鑽および交流のため毎年多数の参加があります。



第33回シンポジウム 優秀講演賞受賞者

## プレストレストコンクリート工学会賞

毎年、PC技術の発展に顕著な貢献をしたと認められる業績に対し、プレストレストコンクリート工学会賞（論文賞、作品賞、技術開発賞、施工技術賞）を授与しています。作品賞には、土木部門、建築部門および改築・改修部門の3部門を設けています。



プレストレストコンクリート工学会賞 賞牌

## 認定資格

### ■プレストレストコンクリート技士（PC技士）

プレストレストコンクリートの計画・設計・施工・管理に携わる技術者の質の向上を図り、PC構造物の品質を確保するとともに社会の進歩発展に寄与する目的で、1993年度にプレストレストコンクリート技士制度を発足しました。新設のみならず既設のPC構造物に関する業務、工事に本資格が活用されています。

国土交通省制定：「橋梁（コンクリート橋）」の点検業務（品確技資第30号）

### ■コンクリート構造診断士

本工学会は、長年にわたってPC構造物とコンクリート構造物の建設、診断、維持管理に関する研究活動を行ってきており、多くの技術や知見を蓄積しています。これらを活用することによって、診断、維持管理に関する幅広い知識をもった技術者を養成し、各種施設の維持管理の重要性が高まるなか、社会に貢献するため、2007年度にコンクリート構造診断士制度を発足させました。コンクリート構造診断士は、その高度な技術力と判断力に基づいた活動によって社会的な信頼を得て多くの分野で重用され、活躍しています。

国土交通省制定：「橋梁（コンクリート橋）」の点検・診断業務（品確技資第29号、38号）  
「トンネル」の点検・診断業務（品確技資第191号、195号）  
「道路土工構造物（シェッド・大型カルバート等）」の点検・診断業務（品確技資第278号、282号）

## 会誌「プレストレストコンクリート」の発行

会誌『プレストレストコンクリート』を隔月で年6回発行しています（創刊1959年）。主にPC技術に関する論文や設計・工事報告、工学会の活動報告などを掲載しており、論文や一般原稿を随時募集しています。また、特集号のテーマなどに関するご要望などもお寄せください。



## 講習会

PC技術の普及と最新技術の情報提供のため、講習会を開催しています。

- PC技術講習会（毎年6月頃、オンライン）
- PC技士試験講習会（毎年9月頃、オンライン）
- 技術規準・指針等の発刊に伴う講習会

## 国際交流

### ■ *fib* における活動

「国際構造コンクリート連合 *fib*（International Federation for Structural Concrete）」にわが国からは本工学会と（公社）日本コンクリート工学会が共同加盟しており、本工学会は主に構造分野、（公社）日本コンクリート工学会は材料分野を担当しています。本工学会は、総会、理事会、最高幹部会および研究委員会などに参加し、*fib* の重要な行事の企画、立案、運営、調査、研究活動に参画しています。

### ■調査団の派遣

国際会議開催時には調査団を派遣し、各種構造物の視察や関係機関の訪問を通じて国際交流を図っており、その概要を会誌にて報告しています。

## 委員会活動

PC技術の普及・発展のため、さまざまな委員会活動をしています。常設委員会は、下記のとおりです。

### 【総務部門】

- 総務委員会
- PC工学会賞選考委員会

### 【学術部門】

- 会誌編集委員会
- ナショナルレポート編集委員会
- シンポジウム実行委員会
- PCアーカイブス委員会

### 【技術部門】

- PC技術規準委員会
- PC鋼材委員会
- 公募研究委員会
- PC技術講習会委員会

### 【資格部門】

- PC技士委員会
- コンクリート構造診断士委員会

### 【国際部門】

- 国際委員会

## 図書の発行

各種図書を発行しており、会員価格にて購入いただけます。下記の主要刊行物のほか、各種講習会テキストや会誌のバックナンバーもあり、ホームページでご確認いただけます。

『フレッシュマンのためのPC講座（増補改訂版）』は、大学の講義テキストとしても活用されるなど、若手技術者への入門書として高い評価を得ています。

- フレッシュマンのためのPC講座（増補改訂版）
- コンクリート構造技術規準—性能創造による設計・施工・保全—
- プレキャストPC橋技術規準
- 複合橋設計施工規準
- PC斜張橋・エクストラードーズド橋設計・施工・保全規準
- 貯水用円筒形PCタンク設計施工規準
- 高強度コンクリートを用いたPC構造物の設計施工規準
- PC構造物高耐久化ガイドライン
- コンクリート橋・複合橋 保全マニュアル
- 高強度PC鋼材を用いたPC構造物の設計施工指針
- PCグラウトの設計施工指針—改訂版—
- PEシースを用いたPC橋の設計施工指針（案）
- 更新用プレキャストPC床版技術指針
- プレキャストPC床版による道路橋更新設計施工要領
- 既設ポストテンション橋のPC鋼材調査および補修・補強指針
- 既設PCポストテンション橋保全技術指針
- 高強度鉄筋緊張PRC構造設計指針（案）・同解説
- 繊維強化ポリマー（FRP）のコンクリート構造物への適用に関する設計・施工指針
- 東日本大震災PC構造物災害調査報告書
- PC津波防災シンポジウム講演論文集
- PC定着工法（2010年版）

## 入会のご案内

### ■入会金・年会費

- |                             |                                       |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 個人正会員                       | 入会金： 1,000円<br>年会費： 10,000円           |
| 学生会員                        | 入会金： 不 要※<br>年会費： 2,000円（PC技術の入門書を進呈） |
| ※ 学生会員から個人正会員への移行時の入会金も不要   |                                       |
| 詳しくは「JPCI」でホームページを検索してください。 |                                       |

[e-mail:kaiinka-r5@jpci.or.jp](mailto:kaiinka-r5@jpci.or.jp)